

常滑市都市計画マスタープラン策定委員会

第5回議事録（概要）

開催日時：令和2年2月10日（月）14時00分～16時00分

開催場所：市役所4階第3会議室

次第

議題

1. 第4回策定委員会での指摘と対応について（資料1）
2. パブリックコメントの結果について（資料2）
3. 都市計画マスタープランの進行管理について（資料3）

議事内容

■第4回策定委員会の指摘と対応について

（委員長）

景観の方針における、案内板の表示については、必ずしも多言語化による案内看板に限った方針とする指摘でなかったように思う。最近のサインには、QRコードやピクトグラムなどがあり、分かりやすい案内という意図だったように思う。

（委員）

最近は、絵で分かるようなユニバーサルデザインとするサインや、維持管理を見据え広告収入を可能とするPPPの仕組みもあるので、参考にしてほしい。

（事務局）

ご意見を踏まえ修正します。

（委員長）

参考資料の都市計画の変遷について、変遷のそれぞれ図がいつ時点の図なのか、補足の説明を付け加えていただけるとより丁寧で分かりやすいと思う。

今回は最後の委員会となります。全般を通してご意見あればお願いします。

（委員）

生産緑地について、営農者の意向に応じた保全を図ることで、良好な都市環境の形成が促進されるということが、直接結びつかないように思う。

（事務局）

市としては、まずは保全していこうということだが、営農意欲が下がっている現状もあるので、営農者の意向を聞きながら検討していこうと考えている。

（委員長）

市内の公園が足りていないところは、まとまった生産緑地を市が買い取って公園として活用していく等の今後の生産緑地のあり方を示す方針が検討できると良いと思う。

(委員)

営農者の意向で保全等を図ることが都市計画らしくない。また、良好な都市環境の形成を促進するということが、促進するまで果たして言えるのか。この2点について、方針の表現を改めたほうが良いと思う。

(委員)

P7-1 について、公民連携による都市づくりの推進とあり、そのなかで、市民協働の推進ということが書かれている。近年、公民連携ということが指し示すのは、PPP や PFI といった行政と民間事業者の連携を指すことが一般的であると思う。公民連携というなかに、市民協働が含まれているということは、違和感があるので、表現を改めたほうが良いと思う。例えば、多様な主体による都市づくり等が考えられるので、検討してほしい。

(委員長)

P5-6 の道路の方針図で、主要幹線道路の方針の中で、暫定・概成区間を整備促進するという方針に対して、図は実線で表現されているので、該当する区間を読み取りにくい。暫定・概成区間の範囲が読み取りやすくなるように、図の表現を修正してほしい。

(委員)

P5-7 の歩行者・自転車ネットワークにおいて、自転車空間とあるが、それはどういう空間を指し、どのような整備することを前提にしているのかを確認したい。

(委員長)

歩行・自転車の空間の確保としてはどうか。

(委員)

歩道、自転車道、自転車専用通行帯といった具体的な施設名を表記してほしい。また、その施設名を、巻末の用語解説に加えてほしい。

(事務局)

ご意見を踏まえ修正します。

■パブリックコメントの結果について

意見・質疑は特になし。

■都市計画マスタープランの進行管理について

(委員)

例えば、都市計画道路の見直しについて、評価指標として「見直し路線数」とあるが、様々な検討を踏まえて、見直しや廃止等を検討しているので、単に見直し路線だけを評価するという解釈にならないようには注意してほしい。

(事務局)

評価という意味とは違うと思うので、表現を改めたいと思う。

(委員)

建築動向についても、新築件数だけが評価指標になっているが、無くなる建物もあると思う。結果と手段を考えて、目標を検討してほしい。

(委員)

評価となっているが、アウトプットとしての指標になっており、アウトカムとしての指標には

なっていないと思う。指標値は、目標値を記載するのか、実績値を記載するのかをよく検討してほしい。

(委員長)

都市マスの期間のなかで、指標としてアウトプットとして数字は必要であると思う。そのうえで、それは何のために、どういう評価をするのかということを検討していただきたい。

(事務局)

ご意見を踏まえ修正します。

以上